

細胞は一番外側に細胞膜という脂質 2 分子膜とタンパク質などから構成される膜を持っている。細胞と同じような内側に水のプールをもつ脂質 2 分子膜のボール状の構造を小胞体という。脂質小胞体は特に人工的に合成された分子から作製されるものをリポソーム、また天然由来のものから作製されるものをベシクルと呼ぶことが多い。リポソームを形成する脂質分子は親水部（水と親和的）の頭部と疎水部（水との接触を嫌う）の 2 本の尻尾で出来ていて、疎水部の構成割合が大きいため水には溶けずに油に溶ける性質をもつ。これが通常の洗剤などに使われる水に溶ける一本の尻尾をもつ界面活性剤と異なる点である。リポソームは内部の水のプールに水溶性の薬物を、また、2 分子膜の膜間に油性の薬物を保持することができるため、これらの薬物を運搬するマイクロカプセルとしての利用が研究されている。

（関連用語：D D S）

（松村）